



地域資源と人材の活用

地域を支える産業と人材の活躍を促進

加工や商品化といった第二次産業を、沖縄経済の一翼を担う戦略的産業として発展させることを推進します。また、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう、働き方の選択肢を広げたり、働きやすい環境づくりに加え、県内企業の「成長と分配の好循環」を構築し、労働者の所得向上につなげることを目指します。

多様なものづくり産業の振興



県産農林水産物の消費拡大および生産振興を図る「おきなわ花と食のフェスティバル」 左／琉球新報社提供、右／沖縄タイムス社提供



県内で最大級規模を誇る総合産業展「沖縄の産業まつり」 沖縄タイムス社提供



沖縄で造られる蒸留酒・泡盛を楽しむ「島酒フェスタ」

駐留軍用地の跡地利用の推進



公園や美術館、ショッピングセンターなどが建ち並ぶ那覇新都心 沖縄タイムス社提供



大型ショッピングモールや総合病院などが立地した北中城村泡瀬ゴルフ場跡地



役場などの施設が立地した北谷町桑江地区

雇用対策と就業支援

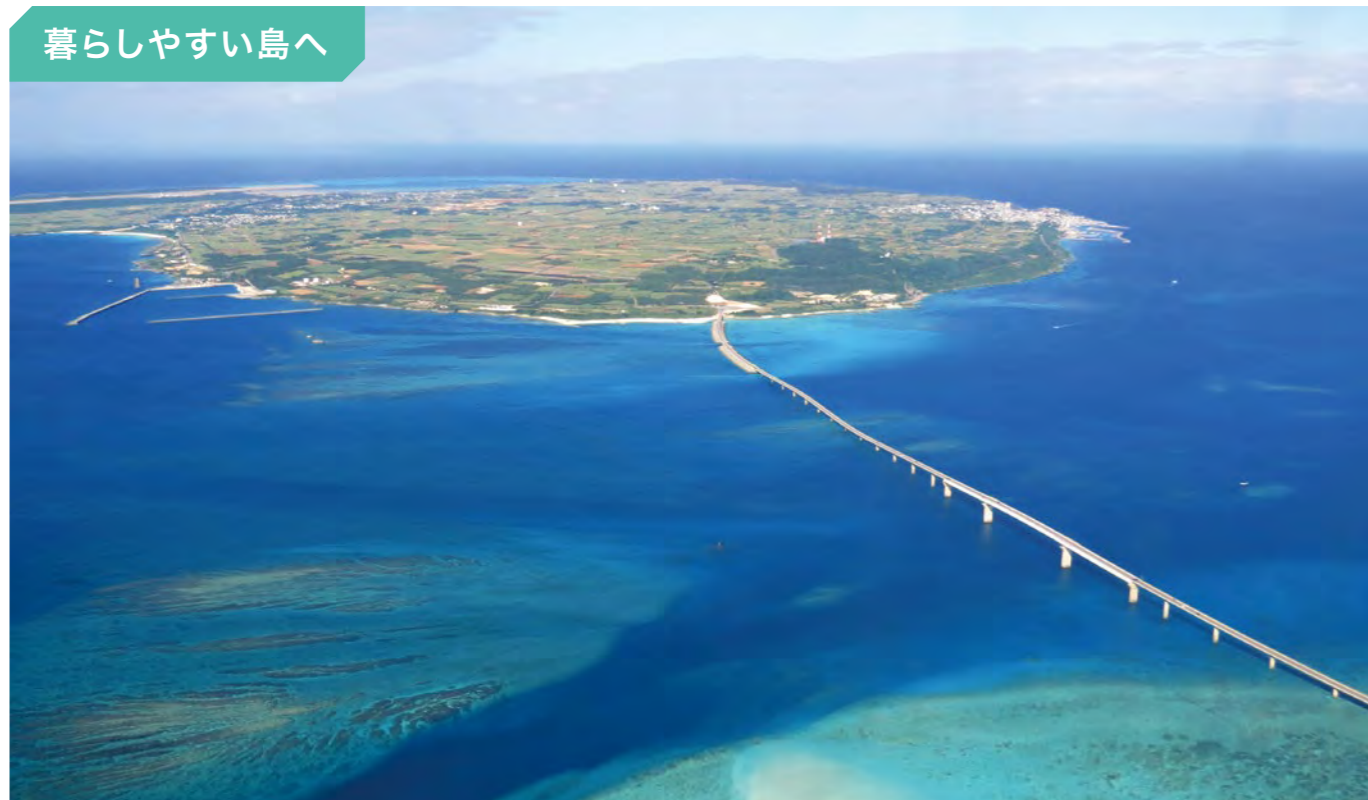


仕事に関する知識やスキルを習得する就職支援セミナー





暮らしやすい島へ



宮古島と伊良部島を結ぶ伊良部大橋

離島地域の魅力向上を目指す

島の資源や魅力を生かした産業振興を推進する

離島地域が抱えている交通、物流、情報通信環境、人材等の不利性を克服し、島々が持つ潜在力を引き出す産業振興を推進します。豊かな自然を活用した観光プログラムや、離島ごとの環境を生かした農林水産業の推進、地元食材を使用した特産品など、各島の特性を生かした持続可能な産業・雇用の創出と地域経済の好循環を目指します。



みやこ下地島空港ターミナル



久高島へ運航するフェリー

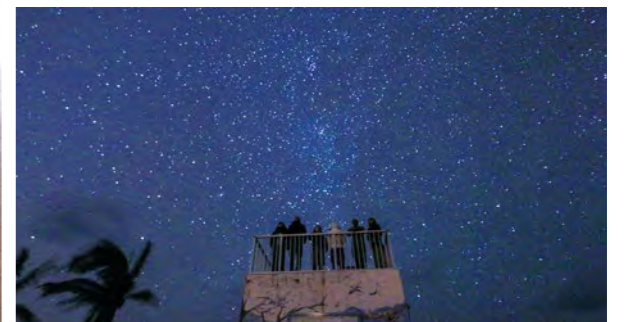


北大東漁港



沖縄県立八重山病院 沖縄タイムス社提供

離島の資源・特色を生かす



離島住民とのふれあいを通して島の魅力を感じてもらおう離島観光・交流促進事業



石垣 離島便

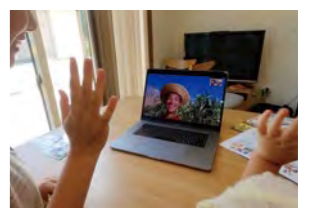
離島の良質なオリジナル商品



離島の特産品などをPRするイベントを開催「離島フェア」



自宅にいながらオンラインで離島の魅力を体験





沖縄にルーツをもつ海外の沖縄県人(ウチナンチュ)が沖縄に集い開催される「世界のウチナンチュ大会」

国際交流と平和の発信

アジア・太平洋地域の平和拠点を目指して

東アジアの中心に位置する地理的特性を生かし、沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成を目指すとともに、これまで築いてきた世界のウチナーネットワークを発展させ、次世代への継承を図ります。また、凄惨な地上戦の歴史から得た平和への思いを広く国内外に発信し、アジア・太平洋地域の平和構築に貢献します。

ウチナーネットワークの継承・発展



海外移住者の子弟と県内の同年代の学生が共に、沖縄の歴史や文化などを学習する研修プログラムを実施

沖縄から平和を希求する



沖縄戦などで亡くなったすべての人々の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎」



沖縄県平和祈念資料館



沖縄全戦没者追悼式



平和祈念堂



沖縄戦の記録や記憶を学び、次世代へと語り継ぐワークショップ

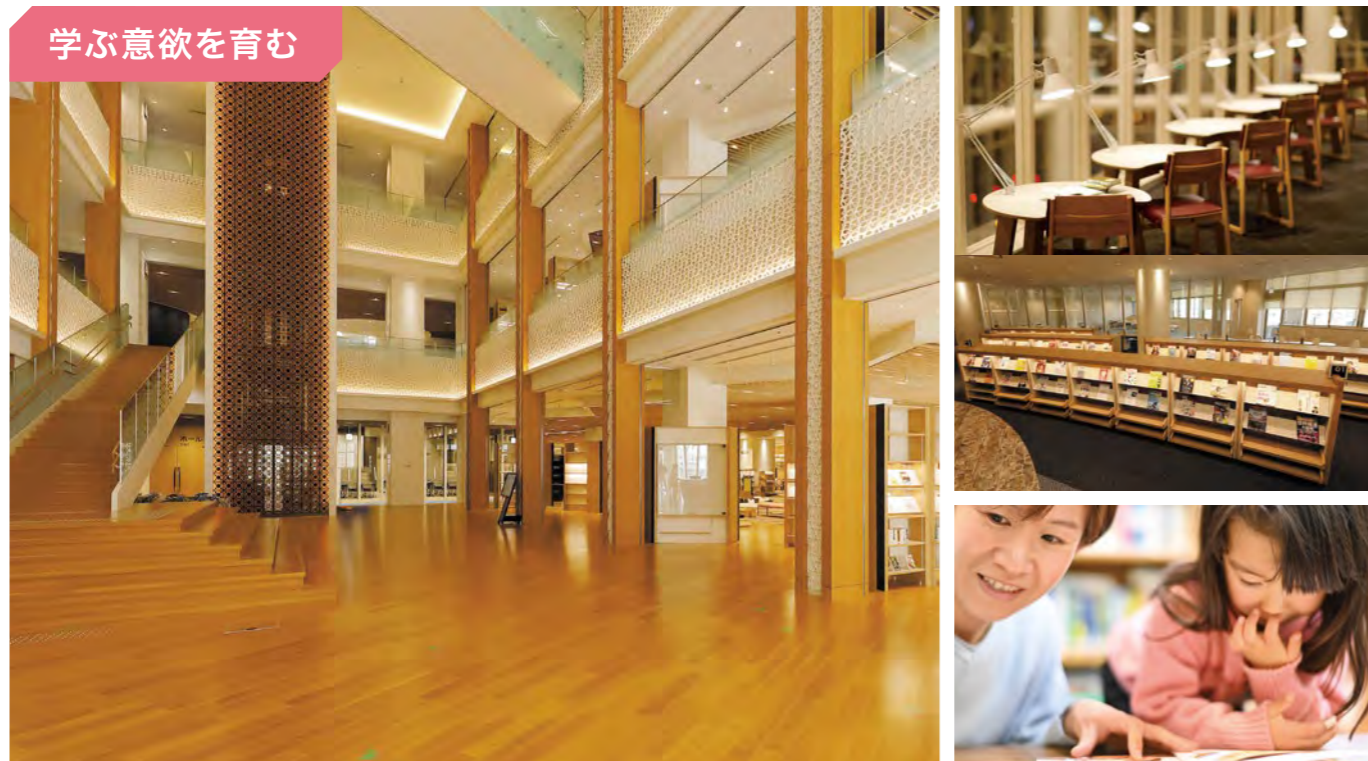


アジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰する「沖縄平和賞」





学ぶ意欲を育む



琉球・沖縄に関する郷土資料も充実している沖縄県立図書館

教育への取り組み

郷土への愛着と誇りを持つ心豊かな青少年の育成

確かな学力、豊かな心、健やかな体など、子どもたちの「生きる力」を育むことのできる教育環境の充実を図り、一人ひとりが豊かな人生を切り拓き、社会の創り手となることを目指します。また、県民がより多くの人とふれ合い、地域および沖縄の文化・自然等を学ぶ機会の充実を図ります。



ひめゆり平和祈念資料館の戦跡フィールドワーク



沖縄本島に住む小学生が離島を訪れる交流体験



生涯学習環境の充実



県民を対象にした、さまざまな講座を開催



離島での移動図書館



小学生向けプログラミング講座



ICTを活用した離島の遠隔教育



沖縄の未来を担う人材育成

力を引き出し、伸ばす人づくり

沖縄県では、国際社会に対応した教育を推進し、グローバルな視点を持つとともに、国際理解教育の推進を図り、国際性豊かな視野の広い人材の育成に取り組んでいます。また、先端的知識・技能の習得、産業人材の育成、職業能力の開発など、地域を支える専門人材の育成にも力を入れています。

国際性を育むプログラムの推進



ハワイ州高校生を受け入れ、沖縄で国際交流



県内の高校生をアメリカの州立大学へ派遣し、大学生活を体験



県内の高校生を中国へ派遣、異文化体験を通して視野を広げる



ALT (外国語指導助手) の授業風景



小学生による図書館員体験 (JICA沖縄)

産業を支える人材育成



外国語で県内各地を案内する通訳案内士



経営感覚を備えた農業者を育成する県立農業大学校



技術者を育てる職業能力開発校



地域医療を支える医師や薬剤師



面積と位置

総面積 **2,281.00km²** (令和2年1月1日)

沖縄県は日本の南西部に位置し、九州と台湾の間に弓なりに連なる琉球弧に属し、総面積2,281.00km²で沖縄島、宮古島、石垣島及び西表島の四つの主要島に伊平屋島、伊是名島、久米島、南北大東島、伊良部島、波照間島、与那国島、慶良間諸島など多くの島しょからなっている。亜熱帯気候に属し、平均気温は約24℃。

資料：国土地理院

人口、就業者数などの推移

| 区分 | 単位 | S47 | S57 | H4 | H14 | H18 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | 目標年次 R3年度 |
|-----------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 総人口 | 千人 | 960 | 1,130 | 1,239 | 1,336 | 1,368 | 1,403 | 1,412 | 1,419 | 1,426 | 1,434 | 1,440 | 1,444 | 1,448 | 1,454 | 1,440 |
| 労働力人口 | 千人 | 373 | 469 | 562 | 625 | 647 | 666 | 674 | 682 | 682 | 700 | 710 | 718 | 732 | 746 | 719 |
| 就業者数 | 千人 | 359 | 446 | 539 | 573 | 597 | 619 | 627 | 642 | 645 | 664 | 679 | 691 | 707 | 726 | 690 |
| 完全失業率 | % | 3.7 | 4.9 | 4.3 | 8.3 | 7.7 | 7.1 | 6.8 | 5.7 | 5.4 | 5.1 | 4.4 | 3.8 | 3.4 | 2.7 | 4.0 |
| 県内総生産(名目) | 億円 | 4,592 | 17,340 | 31,227 | 36,679 | 36,958 | 36,926 | 37,073 | 38,365 | 39,125 | 41,747 | 43,452 | 44,141 | 46,135 | 46,135 | 51,439 |

資料：人口／総務省統計局「国勢調査」、県統計課「推計人口」(各年10月1日現在)

労働力人口、就業者数、完全失業率／県統計課「労働力調査」(暦年の値)

県内総生産／県統計課「県民経済計算」、平成30年、令和元年は企画調整課「平成30年度 経済の見通し」(年度の値)

(注)：1. 目標年次である令和3年度の値は、すべて沖縄21世紀ビジョン基本計画の展望値である。

2. 県民経済計算は各年度の統計公表に伴い遡及改定されるため、(※)の年度以降の数値は前年度と不連続である。

主要経済指標

| 区分 | 単位 | S47 | S57 | H4 | H14 | H18 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|-----------|----|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 県民総所得(名目) | 億円 | 5,013 | 18,226 | 31,929 | 37,869 | 38,717 | 38,978 | 38,954 | 40,420 | 41,426 | 44,032 | 45,975 | 46,742 |
| 基地依存度 | % | 15.5 | 7.4 | 4.9 | 5.4 | 5.5 | 5.1 | 5.6 | 5.2 | 5.9 | 5.2 | 5.2 | 6.0 |
| 財政依存度(県) | % | 23.5 | 34.8 | 37.4 | 40.3 | 37.7 | 39.4 | 40.1 | 39.5 | 40.6 | 38.5 | 37.7 | 37.9 |
| 財政依存度(国) | % | 17.9 | 18.6 | 21 | 24.1 | 22.2 | 24.4 | 24.6 | 24.5 | 24.4 | 24.0 | 24.0 | 23.8 |
| 移出入差(県) | % | △28.3 | △22.7 | △8.8 | △20.1 | △18.1 | △14.2 | △15.0 | △16.0 | △15.8 | △16.6 | △16.0 | △17.2 |
| 輸出入差(国) | % | 2 | 0.9 | 2.2 | 1.3 | 1.5 | △0.9 | △1.7 | △1.7 | △1.6 | △0.1 | 1.0 | 0.9 |
| 一人当県民所得 | 千円 | 440 | 1,364 | 2,038 | 2,052 | 2,023 | 1,981 | 1,971 | 2,054 | 2,059 | 2,192 | 2,315 | 2,349 |
| 一人当国民所得 | 千円 | 740 | 1,848 | 2,967 | 2,855 | 3,068 | 2,805 | 2,820 | 2,938 | 2,983 | 3,070 | 3,091 | 3,164 |
| 所得格差 | % | 59.5 | 73.8 | 68.7 | 71.9 | 65.9 | 70.6 | 69.9 | 69.9 | 69.0 | 71.4 | 74.9 | 74.2 |

資料：県統計課「県民経済計算」、内閣府「国民経済計算」

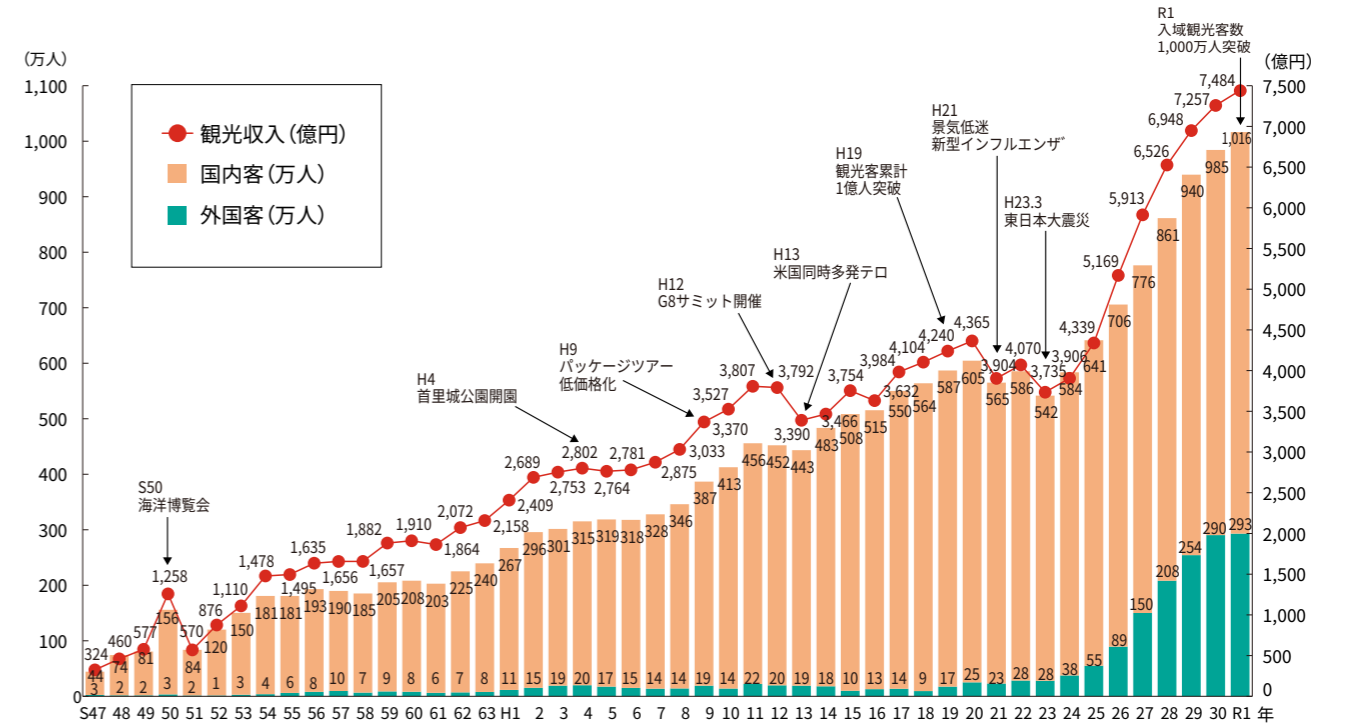
(注) 1: 基地依存度=軍関係受取/県民総所得(名目)×100

2: 財政依存度=(政府最終消費支出+公的総固定資本形成)/県民総所得(名目)×100

3: 移出入差=純移出/県民総所得(名目)×100

4: 所得格差=一人当たりの県民所得/一人当たりの国民所得×100

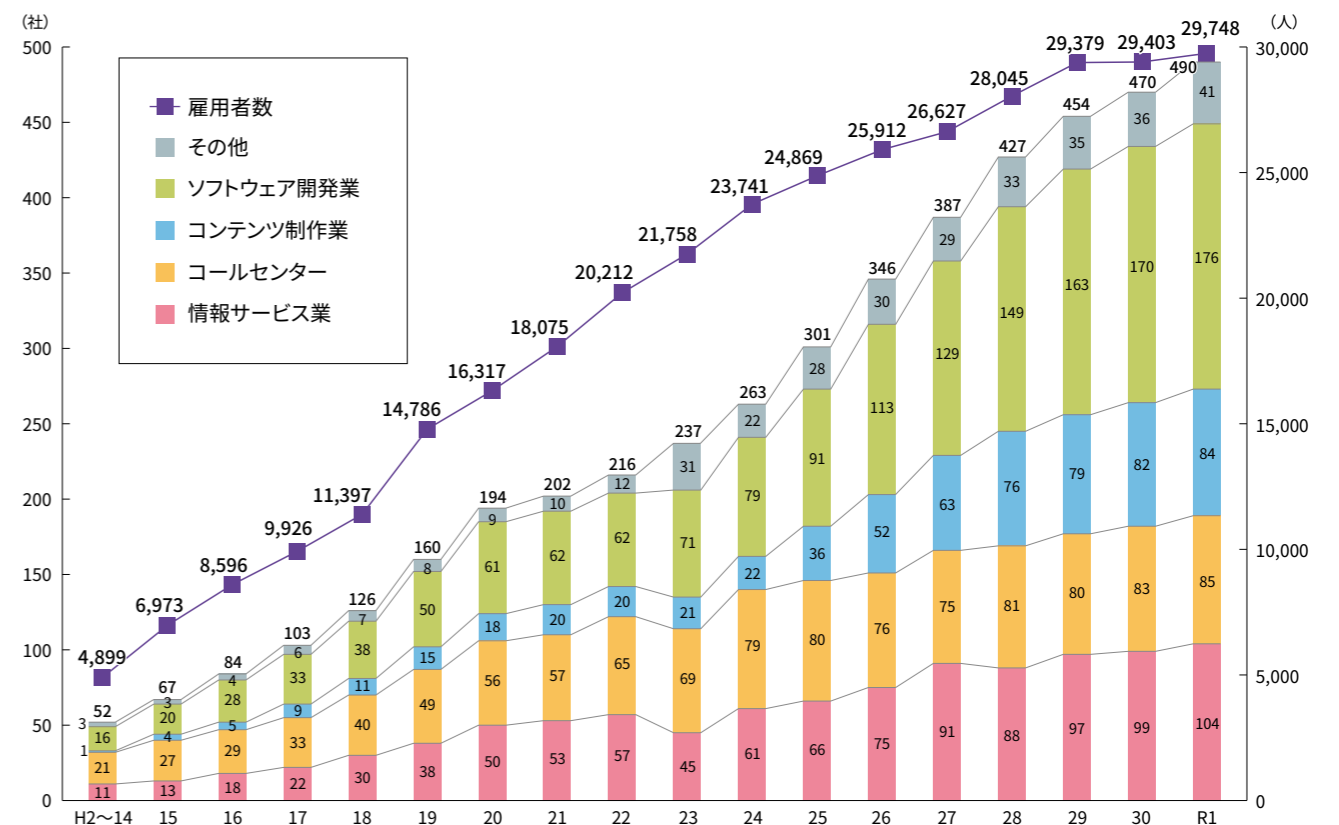
入域観光客数と観光収入の推移(暦年)



※出所：観光客数は沖縄県「入域観光客統計」、観光収入は沖縄県「観光統計実態調査」
 ※観光収入は、平成17年度までは暦年の数値、平成18年度以降から年度の数値となっている。
 ※外国客には、特例上陸者を含む。

資料：県観光政策課「観光要覧」等

沖縄へ立地した情報通信関連企業数及び雇用者数の推移





県花「デイゴ」

マメ科の落葉大喬木で原産はインドです。花は3月～5月頃に咲き、小枝の先端から花枝に総状花序をなし、深紅色で燃え立つように美しい。深紅の花は、南国沖縄を象徴するのにふさわしく、観光資源として大きな効果があること、また幹材は、漆器の材料として用いられており、経済的及び工芸品的に貴重であることが制定の主な理由です。(昭和47年制定)



県木「リュウキュウマツ」

沖縄特有の木で、高さは15m前後に達し、年を経るにしたがって樹冠が広がり美しい枝ぶりを見せます。街路樹、風致樹、盆栽、防風林として広く利用され、増殖も容易で経済的に富んでいるという理由で、県の木に選ばれました。昭和41年2月7日に琉球政府は、「リュウキュウマツ」を県の木とすることを決めました。(昭和47年制定)



県鳥「ノグチゲラ」

世界でも珍しい一属一種のキツツキ科の鳥で、沖縄本島北部だけに生息しており、国の特別天然記念物に指定されています。明治19年にイギリス人によって発見され、明治21年に初めて紹介されました。昭和30年には、琉球政府が天然記念物に指定していること、生息数が減少し、そのまま放置すれば絶滅のおそれがあるという理由で「ノグチゲラ」が県の鳥に選ばれました。(昭和47年制定)



県魚「タカサゴ(グルクン=方言名)」

色鮮やかな25cm前後の美しい魚で、広く人々に親しまれ、熱帯性で沖縄からインド洋にかけて分布します。一年を通して漁獲され、生産高は年々増加しており、本県の主要魚種であること、沖縄独特の追込網漁業で大部分が漁獲されること、沖縄では少ない大衆魚として広く県民の食卓に普及していることなどが理由で、県の魚に選ばれました。(昭和47年制定)



県蝶「オオゴマダラ」

タテハチョウ科の蝶で、日本の蝶としては最大種の1つです。白地に黒い斑(まだら)模様でゆっくり優雅に飛ぶのが特徴で、黄金のさなぎとともに県民によく知られています。沖縄県では広域分布種であり、広く県民に親しまれていることなどが理由で「オオゴマダラ」が県の蝶に選ばれました。(令和2年制定)

沖縄県民の歌

作詞：宮里 静湖
補作：沖縄県民の歌選定委員会
作曲：城間 繁

1. 明けゆく清き 海原に
なごむ島々 雲晴れて
世界にひびく 暁の鐘
試練の歴史 のり越えて
いま 栄光の 朝に立つ
ああわれら われらは誓う
おきなわの 永遠の平和を
2. 黒潮めぐる 百浦に
みどりの山河 照り映えて
自主開発 ゆたかなる
新沖縄の 建設に
いま はらからは 競い立つ
いざわれら われらは築く
ふるさとの 永遠の繁栄を
3. 光みなぎる 大空に
燃えるでいごの 花染めて
代々に承けつぎ 伝えてきた
民族文化 さん然と
いま ふるさとの 地を照らす
ああわれら われらはつくる
おきなわの 未来の文化を

県章



県章外円は海洋を表わし、白い部分はローマ字の「O (OKINAWA)」で、沖縄を表現するとともに人の和を強調しています。また、内円は動的に、そしてグローバルに伸びゆく県の発展性を象徴していて、いわば「海洋」「平和」「発展」のシンボルです。

沖縄県の概況

2021年3月発行
企画・発行 沖縄県知事公室広報課
098-866-2020
編集・制作 光文堂コミュニケーションズ株式会社
098-889-1131